

夏祭りに向けて年長児と太鼓を練習していたときの出来事です。私がみんなに向かつて話していたのですが、バチを持って話していたので、も触ってしまった、カチカチ鳴らしたりと聴くことに集中できないようです。そこで、「バチを持っていないかな？」と問い掛けてみました。子どもたちは少し考えた後、一人の男の子が「置いておけばいい」と答えてくれました。なるほど！確かに置いておけば音はならないね！と反応すると、一人また一人とバチを床に置き、あっという間に話を聴く体勢ができあがりました。

気になる行動があると、つい注意の言葉を掛けたくなるものです。そして、言ったことが伝わらないと次はそのことを叱る。そのうちに初めの目的が分からなくなるということ。は育児あるあるかもしれません。大人はきっかけを提示し、子ども自身が自分で考え、そこで見つけた答えはきつとその子の中で残っていくのかもしれないね。

一方で、人に迷惑を掛けたり危険が伴う行動の場合は注意しなければならぬときもあります。そのときはしっかりと伝えること、そして伝えた後が大切です。以前、ある講師が『時には子どもの心に針を刺すことも必要かもしれない。ただ、針を刺したら抜いてやらないといけない』と話していました。刺しっぱなしにすると子どもの心にいつまでも残るかもしれません。廊下を走らないよと注意した後、その子が歩いていたら「お！歩いてるね！」と行動を認めるなど、針を刺してしまったら抜くまでが大人の責任です。

と書きながら、保育園では気を付けているけど家ではできているのかと反省すること多い 園長 梶原 秀一

今月の予定

七夕集合写真撮影

7/1 (火) 10:00~

七夕飾りや短冊が飾られた笹竹をバックにして、クラスごとに集合写真を撮りますよ。時間までの登園をよろしくお願いします。撮影した写真は、データでの配布いたします。方法などの詳細は後日お伝えいたします。

保護者会・保育園 共催

夏祭り

7/5 (土)

夏祭り委員の皆様が色々と計画をしてくださいました！お手伝いの皆様もありがとうございます！みんなで楽しい夏の思い出にしましょうね。

七夕 笹焼き

7/8 (火)

みんなが書いた短冊や七夕飾りを園庭で焼いて煙にして天まで届けますよ。みんなの願いが叶いますように。

交通安全教室

7/15 (火)

今回から2~5歳児で参加となります。「信号の見方、渡り方」について教えていただきます。ご家庭でも確認してみてくださいね。



お弁当とうデー

7/16 (水)

お弁当のご協力、本当にありがとうございます。ピックの不使用や喉に詰まらない大きさに切るなどのご配慮にも感謝申し上げます。



カレーライスの日

7/24 (金)

今月は園庭で育てたジャガイモを収穫してカレーに入れる予定です。うまく育っているのでしょうか…。今月もまた楽しみですね！

幼児教育アドバイザーの先生方による

読み聞かせ<年中・長児>

7/24 (金) 13:30~

絵本や紙芝居など子どもたちが喜ぶ作品を持参いただいたの読み聞かせ会です。今回はなんだろうな～。



誕生会

7/30 (水) 10:00~

7月生まれのお友だちの誕生会です！みんなでみんなをお祝いすることが着実に子どもたちの心に根付いてきています！

☆お知らせ・☆お願い

★土曜日保育の利用の仕方について

土曜日保育は、土曜勤務をされているご家庭のみが利用申請できます。兄姉の習い事や学校行事では利用できないことをご承知おきください。また、土曜勤務があるご家庭の場合でも、週6日登園になるお子さんもおります。子どもといえども疲れは溜まりますので、勤務終了後は速やかにお迎えをお願いします。

☆保育補助 須藤 来望先生が一身上の都合により退職となりました。これまでありがとうございました。

☆寶木原 果奈絵（ほうきはら かなえ）さんが非常勤保育士として6月末から勤務しております。どうぞよろしくお願いいたします。

★年長児お泊り保育について

ぞうグループ（年長児）のお泊り保育を9月5日（金）～6日（土）の2日間で行います。内容につきましては計画を練っている段階ですので、8月に入ってから手紙を配布いたします。

★チャイルドシートの使用

『子どもをチャイルドシートに乗せていない車がある』と保護者の方から園に報告があがっております。子どもが嫌がるからという大変さは理解できますが、事故があってから悔やんでは遅いのです。子どものためにどうぞよろしくお願いいたします。みんなでみんなを見る意識で保護者の皆様同士でも気に掛けあっていきましょう。

★お盆中の希望保育について

お盆の期間8月13日（水）～15日（金）は希望保育とさせていただきます。詳細は後日手紙を配布します。予めご承知おきください。

★雨天時の置き傘について

これまで雨天時の玄関前の置き傘に関しては、各自の自己責任との考えから特にお声掛けはしてきませんでした。しかし、最近は置き傘が増え、玄関の傘立てがいっぱいになる日が多く、傘を置くことができないとの声があがっています。皆様での譲り合い、後から利用する方へのご配慮をそれぞれにお願いいたします。

「機会と経験を平等に！」

昨年末に行われた小学生のサッカー大会で選手登録した749人のうち、130人が出場せずに大会を終えたという。登録されなかった子、登録されたが、遠くからやって来ても、一度もピッチに立てず、帰った子どもの気持を思うと心が痛んだ。▼少年サッカークラブを作ったことがある。たくさんの子も達が集まり、メンバーが増え続け、外部のチームと試合するようになった。そして、県大会に出場し、学年別大会で優勝した。すると、親も盛り上がり、応援も過熱した。勝敗にこだわるようになった。勝つために子どもを選別し、レギュラーをつくることになる。選ばれなかった子は、試合に出られない。試合経験をえられる子と、体験の差ができる。大きな差になる。そこで、大会に出場できない子にも試合経験ができるように、練習試合をしようと呼び掛けた。しかし、大会の勝敗に夢中になった大人からは賛同を得られなかった。▼昔は、学校から帰ると、近くの空地や路地に自然と子ども達が集まり、年上の子も年下の子も混じって、今は見かけられなくなった草野球や草サ

ッカーが始まる。年令も体力も技術も関係なく、誰もが平等に参加でき、勝敗にこだわらず遊んだ。幼稚園では、子ども達が自然に集まって来て、サッカーやケリ野球をすることがあるが、私が入るとバランスが崩れてしまうことや、子ども同士が教え合っている、積極的に入らないようにしている。入ると、審判だけしてと、おいだされることもある。▼幼児期は、同じ年令でも一年近くの差がある。体格も体力も大きな差がある。同じ月令でも早く成長する子もいれば、後から急成長する子もいる。早くから選別して競わせることは、子どもの発達に害がある。▼大切なのは将来の芽を摘まないこと。全ての子にプレーをするチャンスを平等に与え、同じ経験をさせ、ゲームを楽しむことができることである。これは、幼少期のすべてに言えることである。早く発達することだけが、良いわけではない。大人は、もっとゆったりと大らかに子どもを見守ることが大切である。

理事長

浅田 精利